地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊が行く！

４月から、新たな地域おこし協力隊員が着任し、本市の協力隊員は４人になりました。
今回は新協力隊の赤池隊員をご紹介します。

赤池（あかいけ） 優奈（ゆうな） さん

配属先
スポーツ文化振興課
スポーツ振興係
（総合体育館内）

福岡県福岡市出身で幼いころから体を動かすのが好きだった赤池さんは、高校までは地元福岡で陸上競技（長距離）に打ち込み、体育教師やインストラクターなどを目指すため、沖縄の大学に進学し、スポーツ健康学を学びました。大学在学中には、女子野球と出会い、沖縄の女子硬式野球チームでプレーしていました。

枕崎に興味を持ったきっかけは、本市の地域おこし協力隊である今さんから、枕崎で女子野球チームを作りたいという想いを聞いたことでした。沖縄で一緒にプレーしたこともあった赤池さんは、チームに参加することを決意。地域に根ざした仕事として地域おこし協力隊を志望します。

地域おこし協力隊としての赤池さんのミッションは、合宿誘致やスポーツイベントの企画運営を中心としたスポーツによるまちの活性化。着任して1カ月、驚いたのは食材のおいしさと豊富さだといいます。福岡と枕崎のどちらにもあるスーパーの品揃えが全然違い、しかも新鮮でおいしい。外食でもおいしい店がたくさんあり、家族や友人が近くに来るなら紹介したいところばかり。「枕崎の食を活かして、合宿やイベントに参加する人たちに楽しんでもらうのもいいかもしれない」と意欲的です。

「枕崎市では年間を通してたくさんのスポーツイベントが開催されています。これからはそのイベントの魅力をPRしたり、ニュースポーツを取り入れた新しいスポーツイベントの考案など、スポーツを通して枕崎市をさらに盛り上げていきたいと考えています！また、枕崎市についてまだまだ知らないことも多いので、たくさん勉強していきたいと思います！よろしくお願いします！」と話す赤池さん、スポーツの力で枕崎を元気にしてくれることを期待しています。

市長コラム vol. 61

現状を愉しむ

人間は、時としてないものねだりをしたり、新しいものや出来事を求めたりするものです。確かに、今まで手にしたことのないものを手にする喜びや、新しい体験をした時のワクワクする思いは私たちを刺激します。一方で、既にあるもの、自分が持っているものに目を向けることもとても大事なことです。今あるもの、今の自分が持っているものを見つめ直したり、磨いたりする作業も大事なことだと思います。本棚にある本を読み直したり、長く使い続けた服や靴を修理しながら使い続けたり、そんな今あるものを愉しむことも大切なことです。

「モノ」だけでなく「ある状態」についても同じことが言えるのではないかと考えることがあります。例えば、学校。本市には小学校が４校、中学校が４校、しかも同じ校区に１小１中という「状態」です。この現状をどう捉えるかは人それぞれかもしれませんが、この現状を愉しむことはできそうな気がします。「恵まれている」と感じることもできなくはないと思います。

今年も多くの先生方が枕崎市に転入して来られましたが、その先生方の前任地の学校の様子（状態）を伺ってみると、全校生徒が10人に満たない学校だったり、１０００人を超すマンモス校だったり、いろいろです。そのような話をお聞きすると、教育現場の環境が良い、悪いということではなくその状態でどうやっていくか、事を進めていくかが大事なのだろうと感じます。その環境、状態を自分にとって「恵まれた」ものとする意味でも「現状を愉しむ」という感覚は、先生にとっても、児童生徒、保護者にとっても、とても大事な事なのではないかと思います。

私たちの暮らしの中でも、自分の周りをもう一度見つめて「現状を愉しむ」ことを探してみましょう。

枕崎（まくざき）×人（ひと）×仕事（しごと）　No.33

お菓子処 大阪屋 / 港町

「枕崎×人×仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。今月は、ベテランの菓子職人を取材しました。

柴建　高幸（たかゆき） さん　（76）

明治37年に創業し、戦時中の営業できなかった期間を除いても１００年以上の歴史を持つお菓子処大阪屋。今回はその３代目となる柴建高幸さんを取材しました。

本市出身の高幸さんは、中学校を卒業後、鹿児島市の高校へ進学。その後、教職を目指し福岡の大学で学んでいました。転機が訪れたのは大学２年の頃、２代目として大阪屋を切り盛りしていた父の高雄さんが体調を崩し、大学を休学して店を手伝うことになった時でした。

創業者で祖父にあたる喜右衛門さんと父の高雄さんは、当時鹿児島市で営業していた大阪屋で修行の後に菓子職人となりましたが、高幸さんにとっては実家とはいえ本格的なお菓子作りは初めての経験。高雄さんの体調が戻れば大学へ復学するつもりでした。しかし、地元の先輩達から「商売をするなら人と交わらんないかん」とスポーツや寄り合いに誘われ、楽しさを覚え始めます。さらに青年会議所主催のまちづくりの勉強会に誘われ、同世代の若者が熱心に質問する姿を目の当たりにします。そんな地元で頑張る同世代に刺激を受け、自身も家業を継ぐことを決意したと振り返ります。

仕事へのこだわりを聞くと、意外にも「こだわらないこと」。創業時はせんべい中心だった商品も、戦時下や終戦直後は配給のパンを作り、その後はお茶請けやお土産、冠婚葬祭のお返しとして和菓子や洋菓子など、時代に合わせ、また地元に愛される商品を作ってきました。

菓子職人の喜びは、お客さんからの「美味しかった」の声だという高幸さん。気温や湿度によって微妙に配合を変えますがお菓子作りに一番重要なのは水と空気。「いくつになっても完成はない」と技術の向上に余念がありません。そんな高幸さんの今後の目標は、元気で一年でも長く続けること。「時代の変化で枕崎のお菓子屋さんも少なくなってきましたが、ぜひ地元の店をご利用ください」と話しました。

スポーツ・文化イベント情報

南溟館
開　9:00 ～ 17:00
※入館は16：30まで
休　毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問　スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

田代和夫オルゴール展

枕崎ライオンズクラブ結成60周年記念事業として、本市出身で世界的に活躍されたオルゴール編曲家の故・田代和夫氏を偲ぶ展覧会を開催します。初日には開場式の他、枕崎マリンコーラスによる追憶コーラス、また「河口湖音楽と森の美術館」（山梨県）の石澤潤氏による記念講演会も開催しますのでぜひご来場ください。

●**会期**　５月12日（日）～19日（日）※月曜日休館
●**イベント**　開場式および記念講演会
５月12日（日）午前10時～正午
●**会場**　南溟館　●**観覧料**　無料
●**主催**　枕崎ライオンズクラブ

第70回記念県美展枕崎巡回展

毎年、鹿児島市の黎明館、市立美術館で開催される「県美展」が第70回目を迎えます。その記念事業として、南溟館にて巡回展を開催いたします。会期中にはギャラリートークも行いますのでぜひご来場ください。

●**会期**　６月２日（日）～30日（日）
※月曜日休館
●**会場**　南溟館（第１展示場）
●**観覧料**　一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料
●**イベント**
開場式　６月２日（日）午前10時～
ギャラリートーク
６月２日（日）午前10時30分～11時30分
６月30日（月）午後２時～３時

第32回黒潮すもう大会を開催

黒潮すもう大会が５年ぶりに開催されます。個人戦のほか、各小学校の代表者による団体戦も開催されます。市内の小学生の皆さんの参加および市民の皆さんの応援をよろしくお願いします。

●**日時**　６月８日（土）午後１時30分～
●**会場**　駒場公園相撲場（消防署近く）

道路で動物の死骸を見かけたら市役所までご連絡ください　TEL76-1097